

ほおっちょけん

高知の名所
仁淀ブルー「にこ淵」

初めての取り組み

聴覚障害をお持ちの方を対象に聴覚障害者協会様の手話通訳ご協力を得てLPA セミナーを今年度3回実施しました

★手話を使って

終活 成年後見 ちょこっとモレ

3つのセミナーに挑戦！



メンバー8名、事務局2名 定例会は月2回

障害をお持ちの方もほおっちょけん

手話通訳



手話通訳有りのセミナーは試行錯誤の連続・・・

◆パワポの文字数は少な目？多め？どっち

◆画像で大部分を伝えることが必要？

◆話すテンポはやっぱりかなり遅め？

- 話すテンポはややゆっくりめ
- 長文ではなく短文の方が通訳しやすい
- 目線は手話通訳者とパワポがほとんど
- 目線がパワポの時に少し間を取る
- パワポはできるだけ早く仕上げて事前に手話通訳者の方にデータ送信

暗中模索状態の中でのロープレは熱気むっーんむん。やっぱりわからんことは聞く、調べるしかないき

思いをもって全力で考え
そしてまずはやってみる！
その思いが伝わり後日追加の
セミナー依頼をもらえた！

【アンケート等で頂いたお声】

- ・元気なうちに終活を始める 今までぼやっとしか見えなかったものがとても具体的になりました（終活）
- ・加齢で何でも自分の不具合を済ませていますが、対策をして、諦めずに向き合うことが大切と知りました。知人にも教えてあげたいと思います（ちょこっとモレ）
- ・障害を持っても後見人になれることがわかり安心しました（成年後見）

想いをカタチにするセミナーづくり

ほおっちょけんとは＝土佐弁で困ってる人を
ほおってはおけないの意味



講師
中山

ちょこっとモレ

正しい知識と対処法を知って、今よりもっといきいき活発な毎日を送ってほしい。セミナー内で実験や体操も併せて実施します

生理用パット、尿漏れパットの用途と違いを実験することで初めて知りました。ドアノブ症候群、納得できました

参加者の声



講師
池

知っていますか？MCI（軽度認知症）
高齢化社会を背景にパターンは様々、困ったらひとりで抱え込まずに助けを求めて皆でいっしょに考えることが一番大切

店長にも相談し、仲間と一緒に対応できるよう心掛ける。パニックにならないよう相手の気持ちに寄り添うようにしたい

参加者の声



講師
森川

年金セミナー

年金のしくみ、老後資金計画、貯蓄など知らない不安がつります。知ることによって安心して老後を迎えてほしい

具体的な数字があり、老後に備えなければならない金額がわかり安心できた。医療費や介護に掛かる金額にびっくりです。



講師
岡田

終活セミナー

遺族の負担を減らすだけでなく、これからの自分の人生をより自分らしく楽しんでほしい

エンディングノートはどの世代からも書けると聞きやる気になった。残りの人生がよりよくなりそうでこれから楽しみです

参加者の声



講師
小松

成年後見制度

理解の難しい制度ではあるが、自分自身の経験も例えながら伝え、少しでも興味をもってほしい

成年後見制度、興味があったので詳しく知れてよかった。種類があるものなんですね。費用も知れてよかった。

参加者の声



講師
嘉数

おこづかいゲーム

勝ち負けや正解があるわけではない。必要なものとほしいもの、お金に対して計画性をもってほしい

計さんシートのおかげでお金の使い方がわかった。かかしのしごとをするのが楽しかった。サイコロをまたふりたい。

★声を頼りに1歩前進

会場で頂く声は私たちの道しるべ

例えば今年度4回行った終活セミナーでは菩提寺や宗派の声があったので次回では宗派間違いの失敗談を挿入してみたり、今度はお墓の声が多かったので次回にはお墓事情を調べて組み込む予定になっています。思いを込めてセミナー作成をし、今後も会場で参加者の方から頂く声を大切にしていきたいと考えています。